

# 宮城県の木材需給動向について



令和3年12月17日（金）  
宮城県水産林政部林業振興課

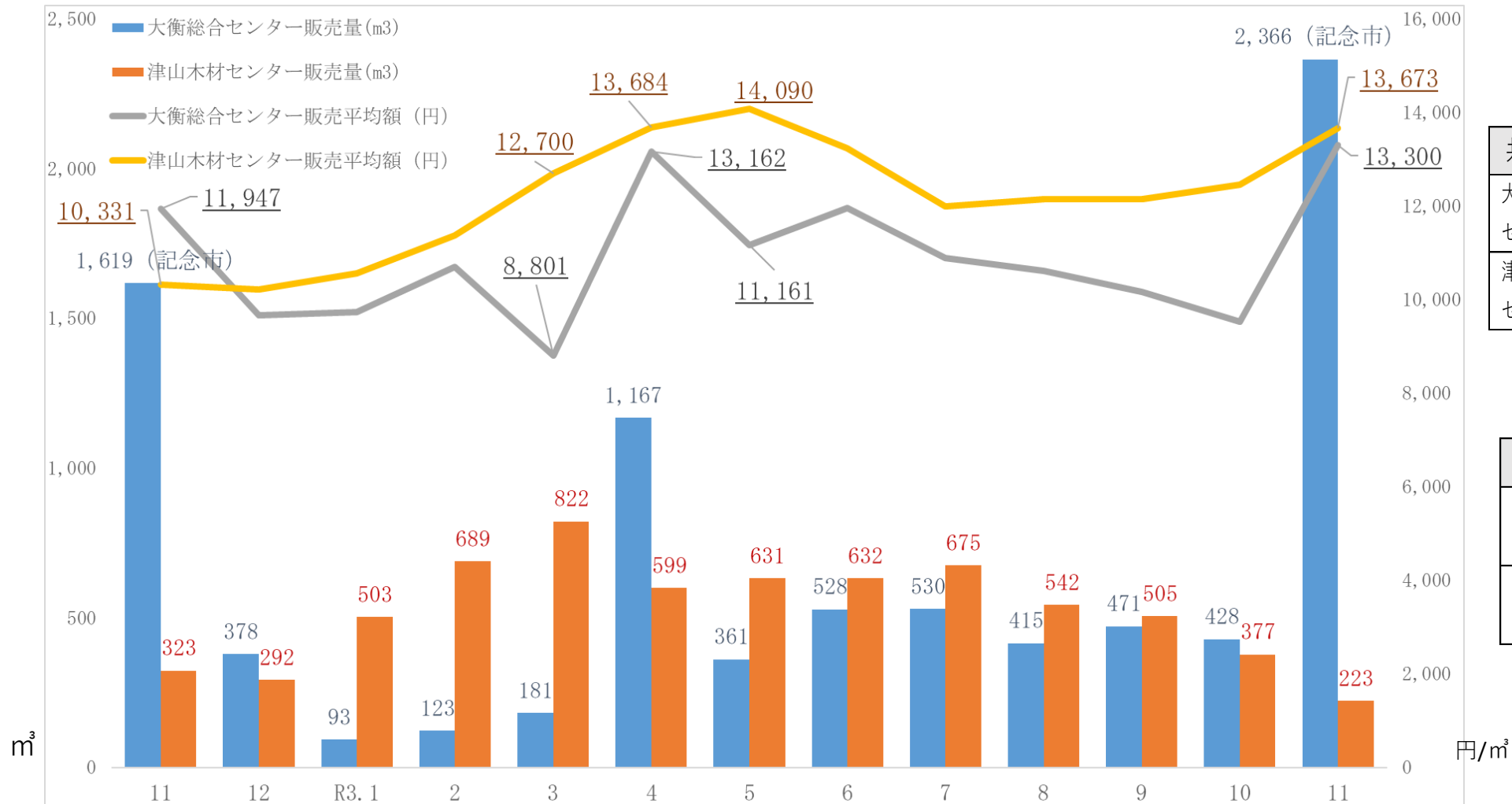


# 目次

- 1 価格の動向
  - (1) 原木市場・共販所
  - (2) スギ中丸太
  - (3) 合板用素材価格
  - (4) 製品価格の推移・動向（全国，宮城県）
- 2 原木の入荷，製品の生産等
  - (1) 製材工場の推移
  - (2) 合板工場の推移
  - (3) プレカット稼働率（東北・全国）
- 3 県内の新設住宅着工の推移
  - (1) 構法別
  - (2) 利用関係別

# 1 価格の動向 (1) 原木市場・共販所 (宮城県 大衡, 津山)

- ・令和3年11月の大衡共販所及び津山共販所の販売平均額は上昇傾向である。例年比では高い。
- ・令和3年1～11月の販売量は、昨年同時期と比較して大衡で119%(R2:5,581m<sup>3</sup>,R3:6,663m<sup>3</sup>)  
津山で270%(R2:2,299m<sup>3</sup>,R3:6,198m<sup>3</sup>)と高い傾向となった。



同時期における価格の比較 (¥/m<sup>3</sup>)

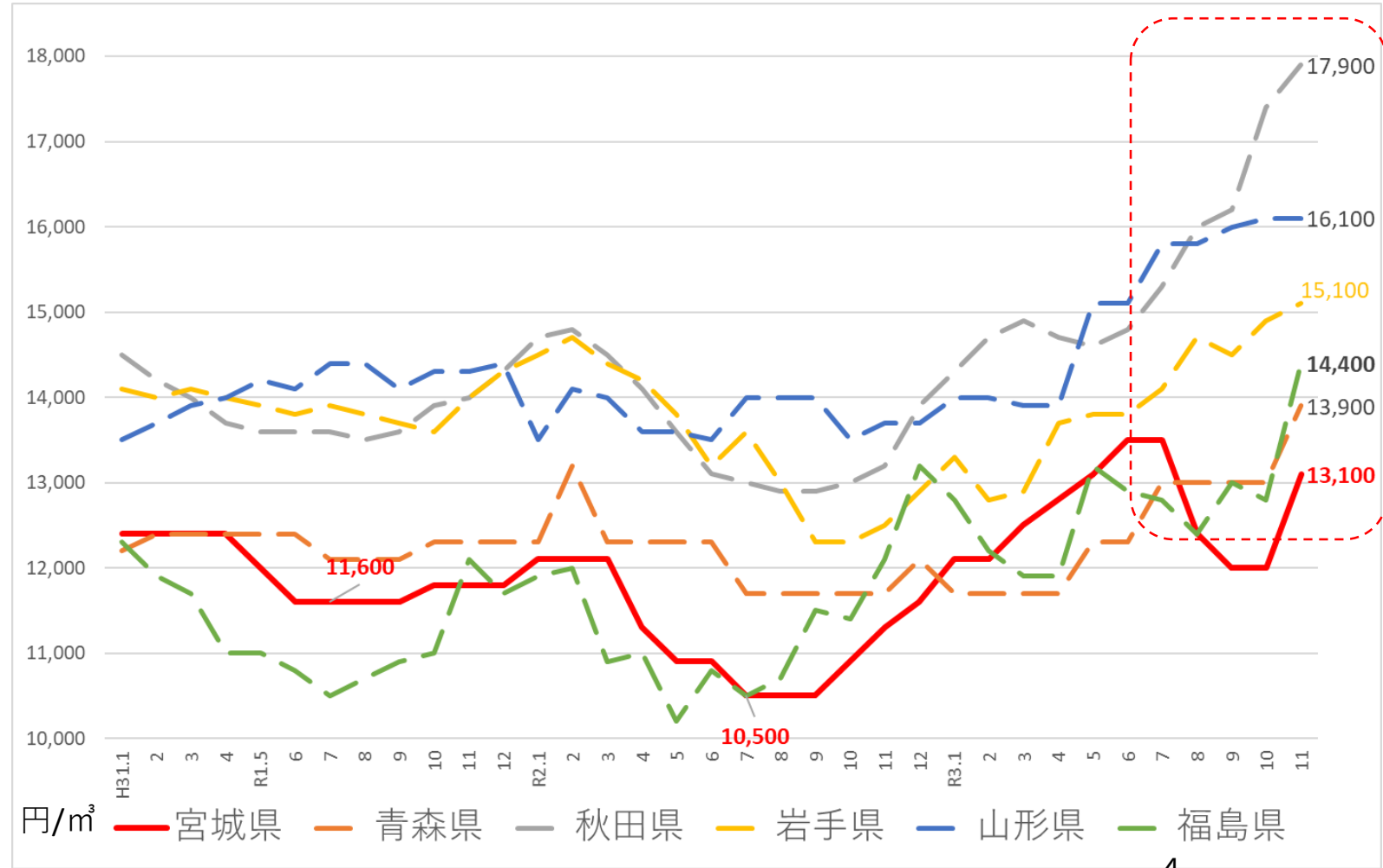
共販名	R1.11	R2.11	R3.11
大衡総合センター	-	11,947	13,300
津山木材センター	10,784	10,331	13,673

同時期における価格の比較 (%)

共販名	R3.11/R1.11	R3.11/R2.11
大衡総合センター	-	111%
津山木材センター	127%	132%

## (2) スギ中丸太 径24～28cm 長3.65～4.0m (東北地方)

- ・例年と比較して価格は上昇傾向。特に宮城県では令和2年10月から増加が顕著であり、最新値で13,100円/m<sup>3</sup>となっている。
- ・秋田県、岩手県、山形県では令和2年11月頃から高価格帯を維持しており、特に秋田県でその傾向が顕著である。
- ・東北6県の平均価格は前々年比117%、前年比121%となっている。



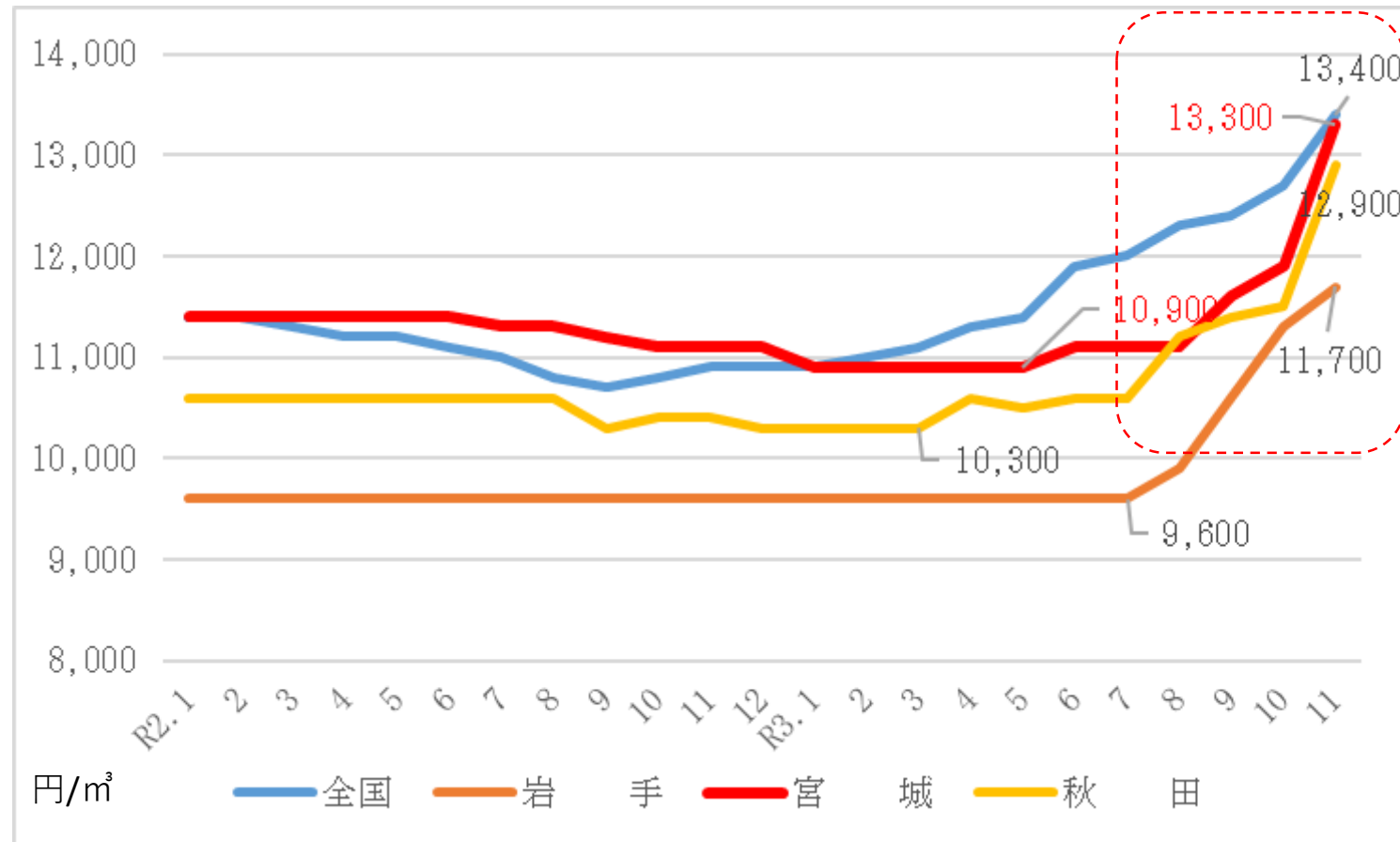
東北6県における価格の比較 (円/m<sup>3</sup>)

	R1.11	R2.11	R3.11	R3/R1	R3/R2
宮城県	11,800	11,300	13,100	111%	116%
青森県	12,300	11,700	13,900	113%	119%
秋田県	14,000	13,200	17,900	128%	136%
岩手県	14,000	12,500	15,100	108%	121%
山形県	14,300	13,700	16,100	113%	118%
福島県	11,000	12,100	14,400	131%	119%
平均	12,900	12,417	15,083	117%	121%

出典：農林水産省 木材価格統計調査

### (3) 合板用素材価格スギ径18cm上 (全国, 宮城県, 秋田県, 岩手県)

- ・令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、宮城県で値下がり傾向が見られたが、令和3年度に入って価格が上昇している。
- ・秋田県、岩手県、全国においても例年と比較して2割程度値上がりしている。

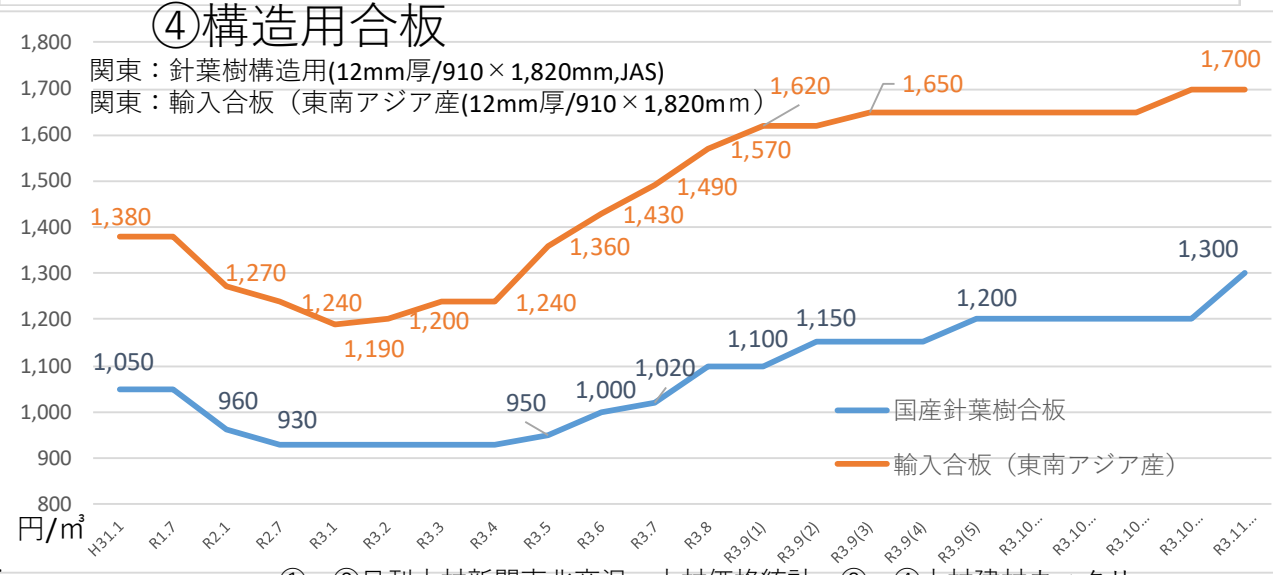
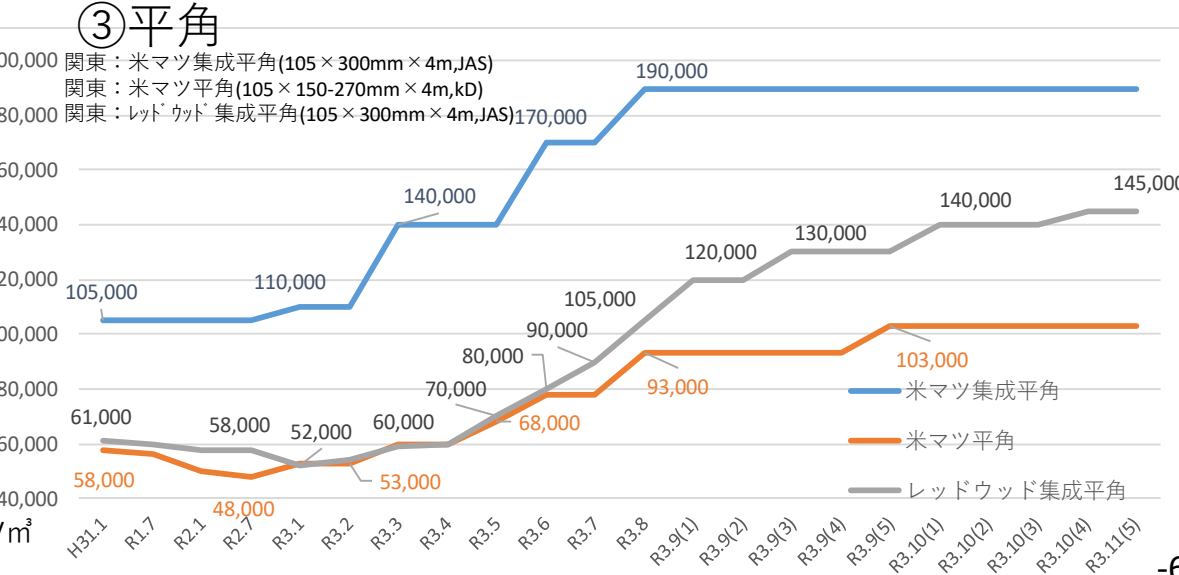
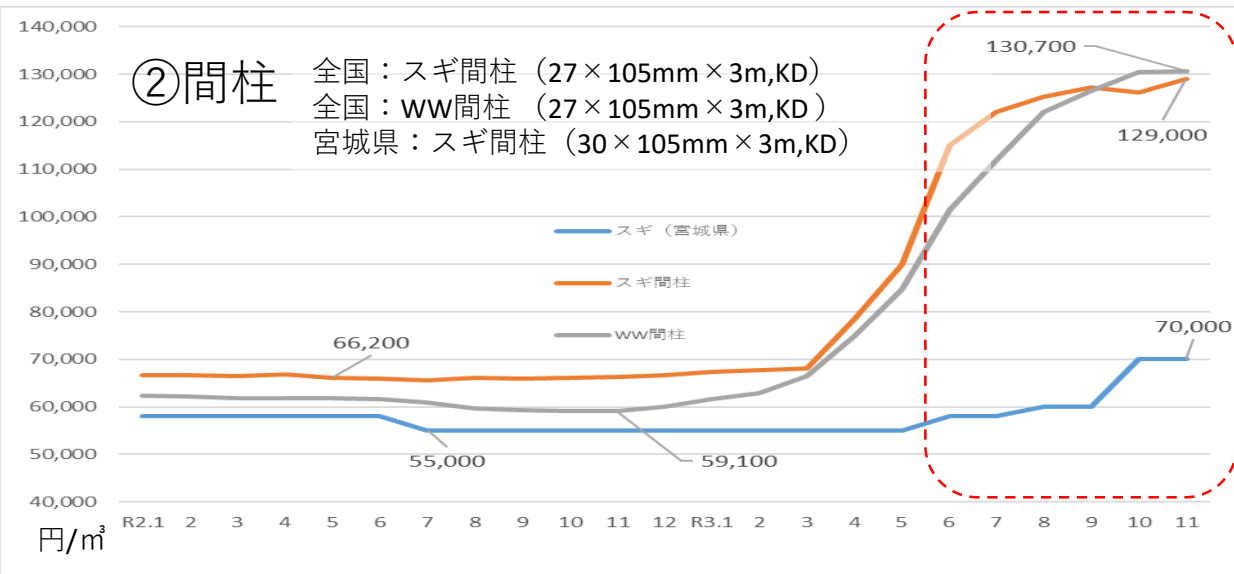
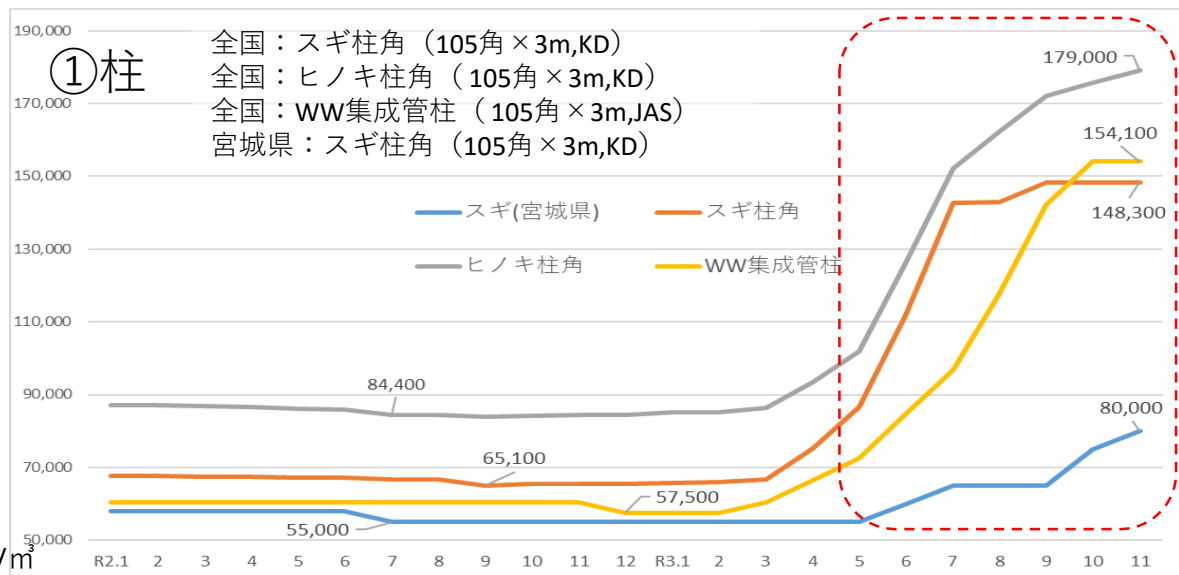


	R1.11	R2.11	R3.11	R3/R1	R3/R2
宮城県	11,400	11,100	13,300	117%	117%
岩手県	9,600	9,600	11,700	122%	122%
秋田県	10,600	10,400	12,900	122%	122%
3県平均	10,533	10,367	12,633	120%	120%
全国	11,400	10,900	13,400	118%	118%

出典：農林水産省 木材価格統計調査

## (4) 製品価格の推移・動向（全国，宮城県）

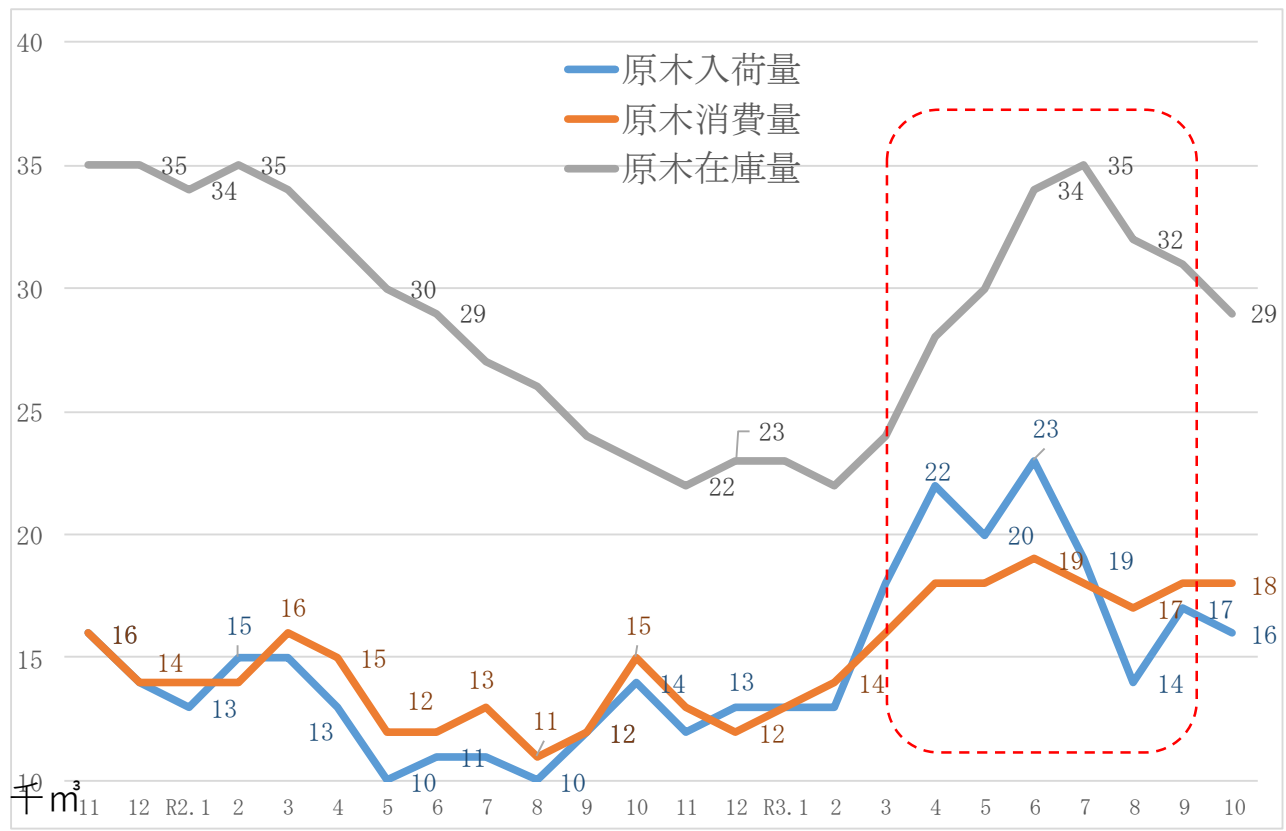
- ・全国で①柱，②間柱の価格は令和2年度末から価格が上昇しており，令和3年11月現在でも値上げ傾向である。
- ・宮城県の価格は令和3年6月から価格の上昇が続いている。
- ・輸入材の③平角は高値で安定している。④構造用合板は国産品も輸入品も価格が上昇している。



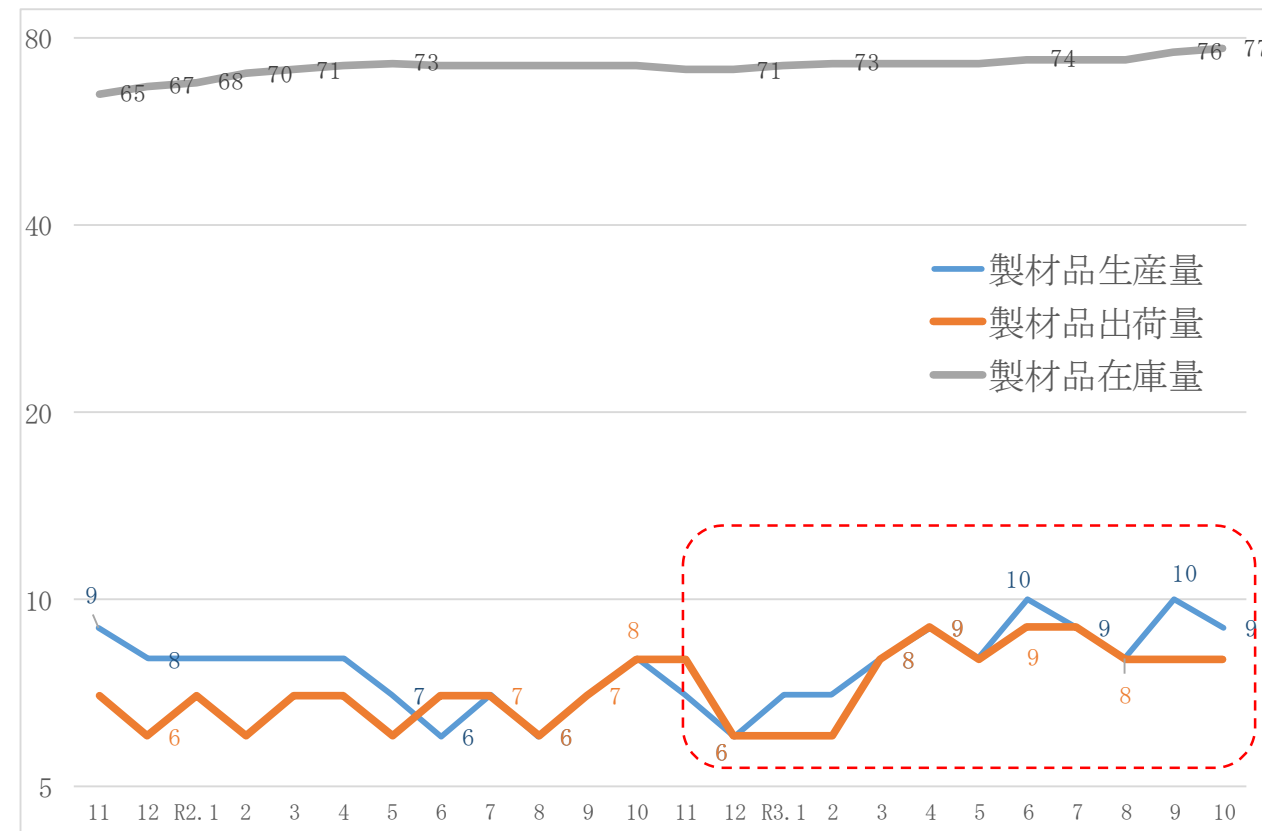
## 2 原木の入荷，製品の生産等 (1) 製材工場の推移 (宮城県)

- ・原木消費量はR3.1から増加傾向に推移しており，高い水準で推移している。
- ・夏場原木入荷量を抑えていたため，原木在庫量が春先と比べ減少傾向になったが，例年と比較すると多い傾向。
- ・製品の生産量がR2.12から増加傾向に推移しており，出荷量もR3.3から増加しており，全体的に高い水準が続いている。在庫量も緩やかに増加している。

製材用原木入荷量等 (県内)



製品生産量等 (県内)

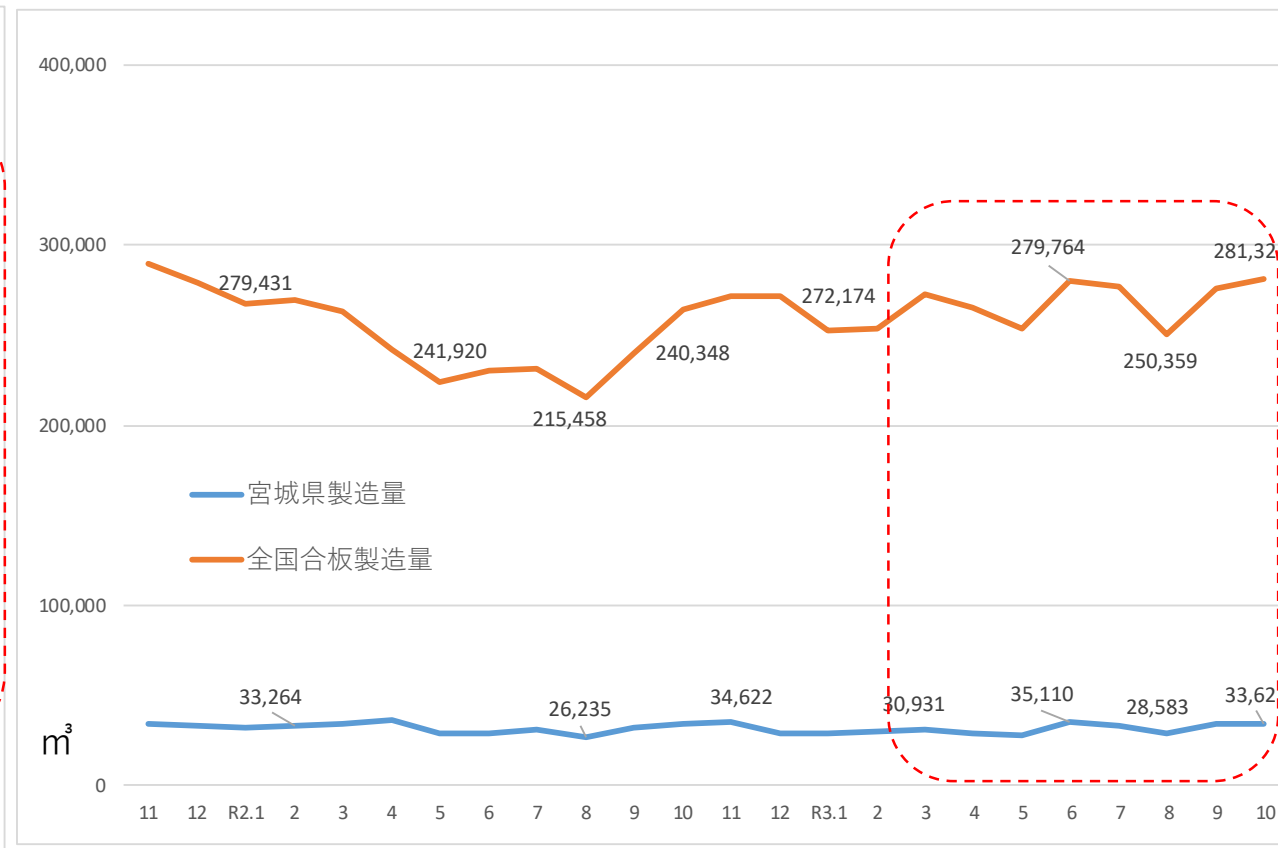
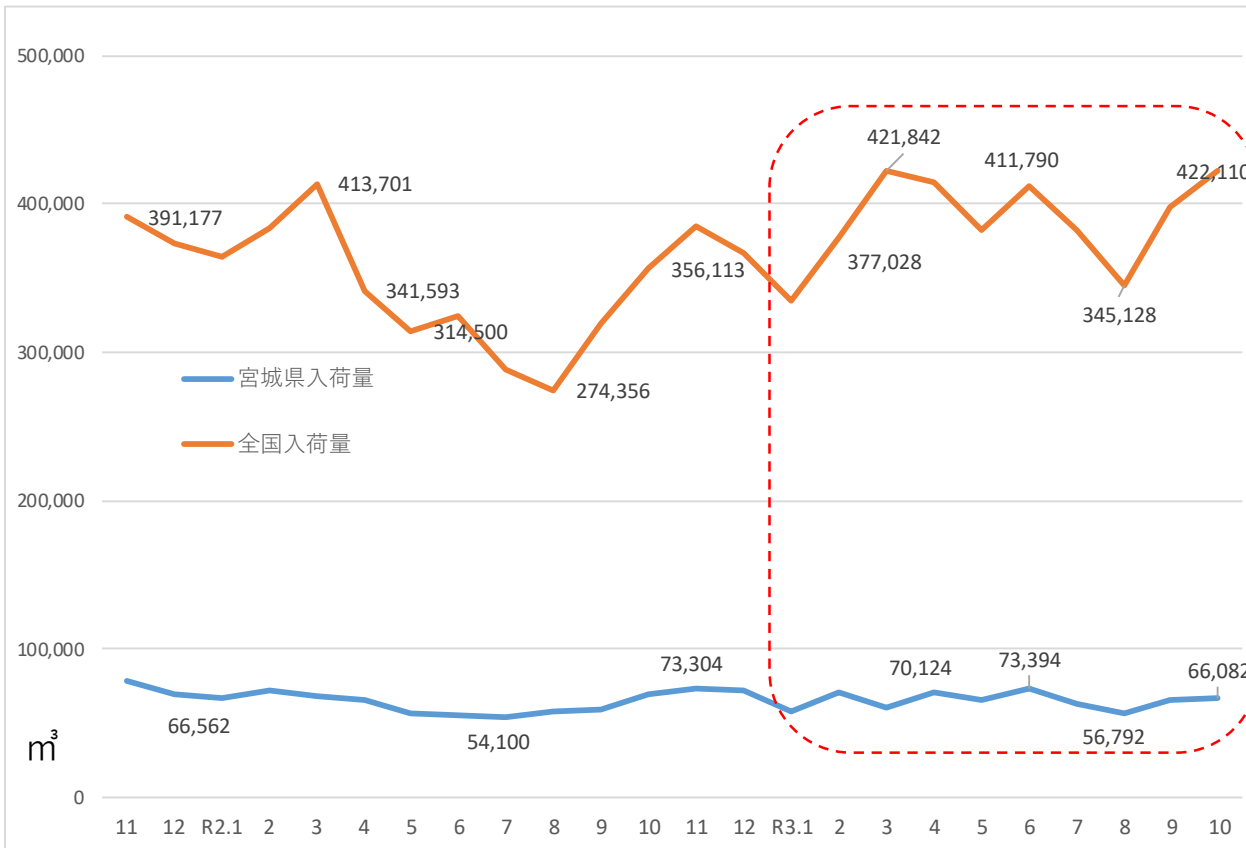


## (2) 合板工場の推移 (全国, 宮城県)

- ・全国の原木入荷量は令和2年度下半期から上昇傾向に推移しており、同じような傾向が続いている。宮城県も全国と概ね同じ動きであるが、その幅は小さい。
- ・合板製造量は令和2年度上半期で減少傾向であったが、下半期から増加傾向に推移しており、更に増加傾向で推移している。宮城県も全国と概ね同じ動きである。

原木入荷量 (m<sup>3</sup>)

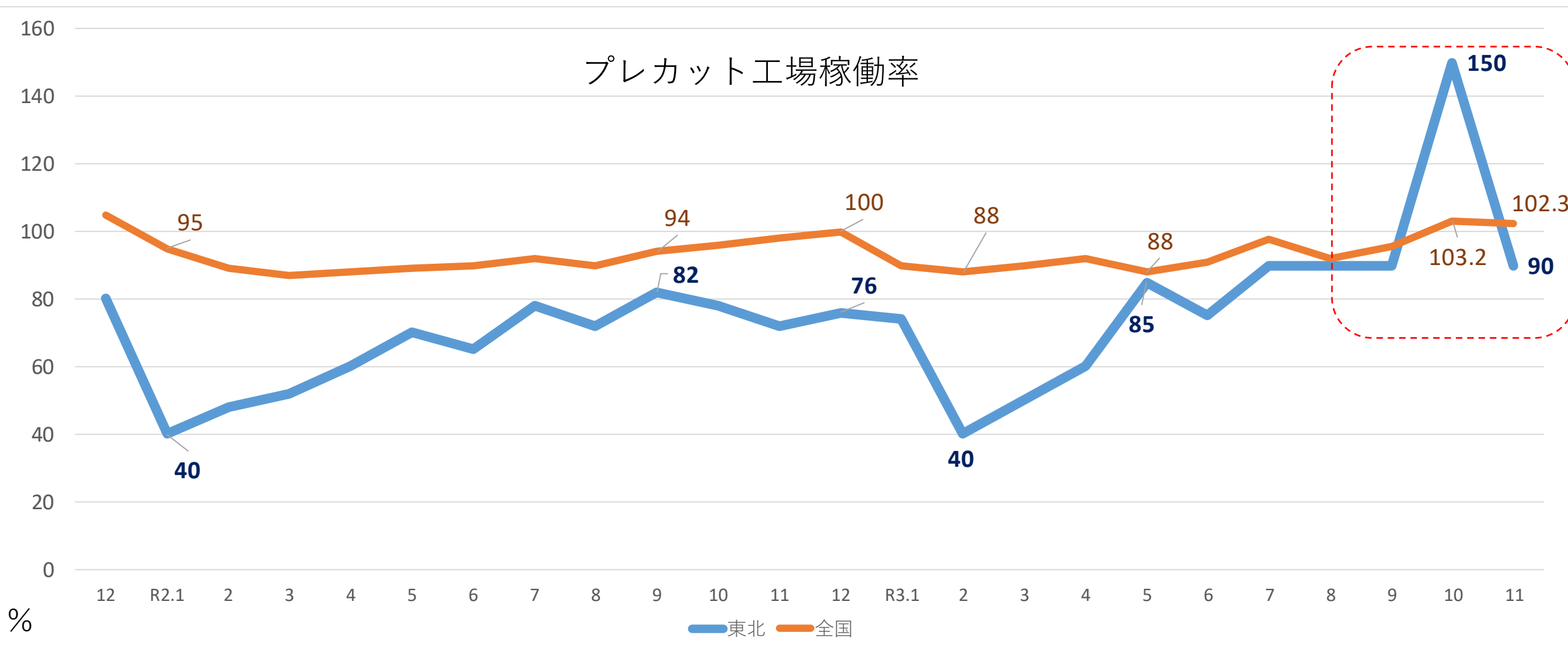
合板製造量 (m<sup>3</sup>)





### (3) プレカット稼働率 (全国, 東北)





- ・全国のプレカット稼働率は昨年と比較して高い水準で推移している。
- ・東北地区においては、令和3年2月を底に上昇傾向が見られ、一昨年比で減少傾向、昨年比で増加傾向となっている。



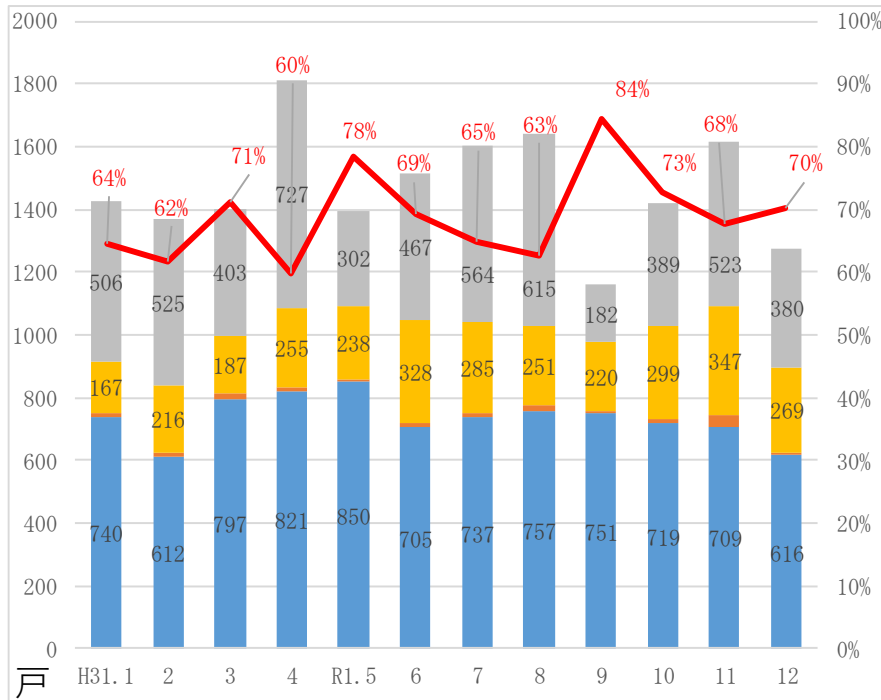
### 3 県内の新設住宅着工の推移 (1) 構造別 (宮城県)

・全国の新設住宅着工数は令和3年度10月までで714,677棟で、前年と比較してやや多い。  
(前年同期比105.4%)

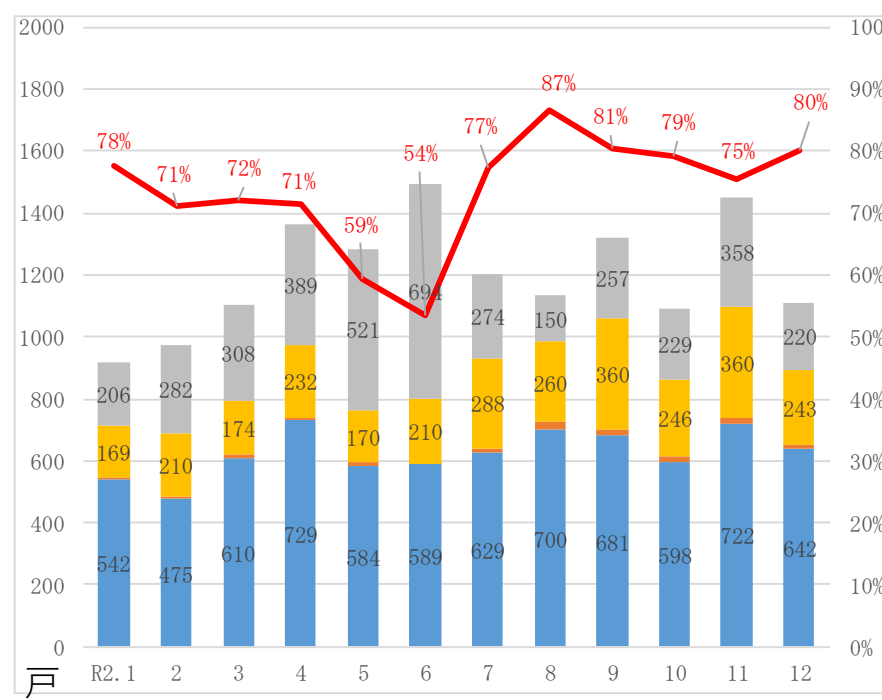
・宮城県の令和3年1~10月の新設住宅着工戸数は13,040棟で、令和2年と比較して多く、令和元年と比較して少ない。(前年比110%, 前々年比89%)

木造軸組	
木造プレハブ	
木造2×4	
非木造	
木造率	

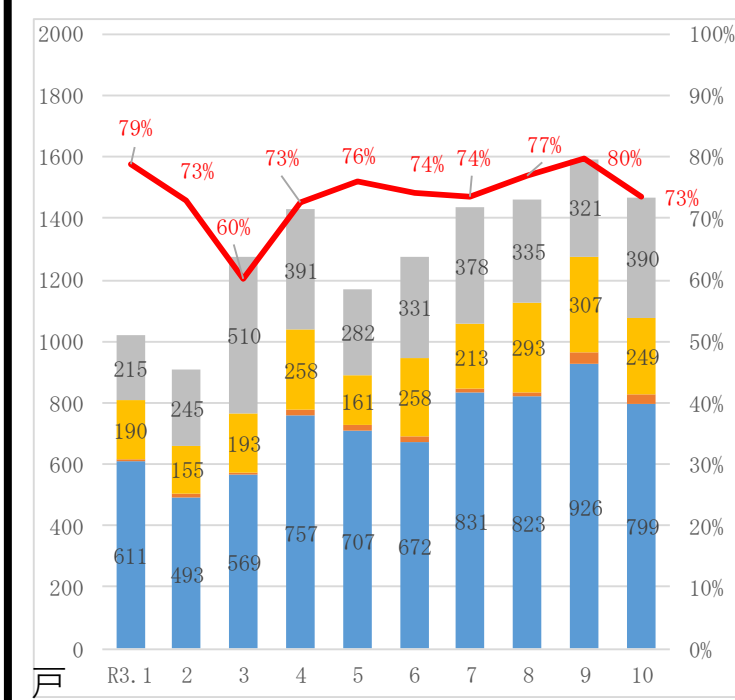
令和元年次 (宮城県)  
年：17,621棟 (木造率70%)  
1~10月：14,732棟 (木造率69%)



令和2年次 (宮城県)  
年：14,451棟 (木造率73%)  
1~10月：11,886棟 (木造率73%)



令和3年次 (宮城県)  
1~10月：13,040棟 (木造率74%)

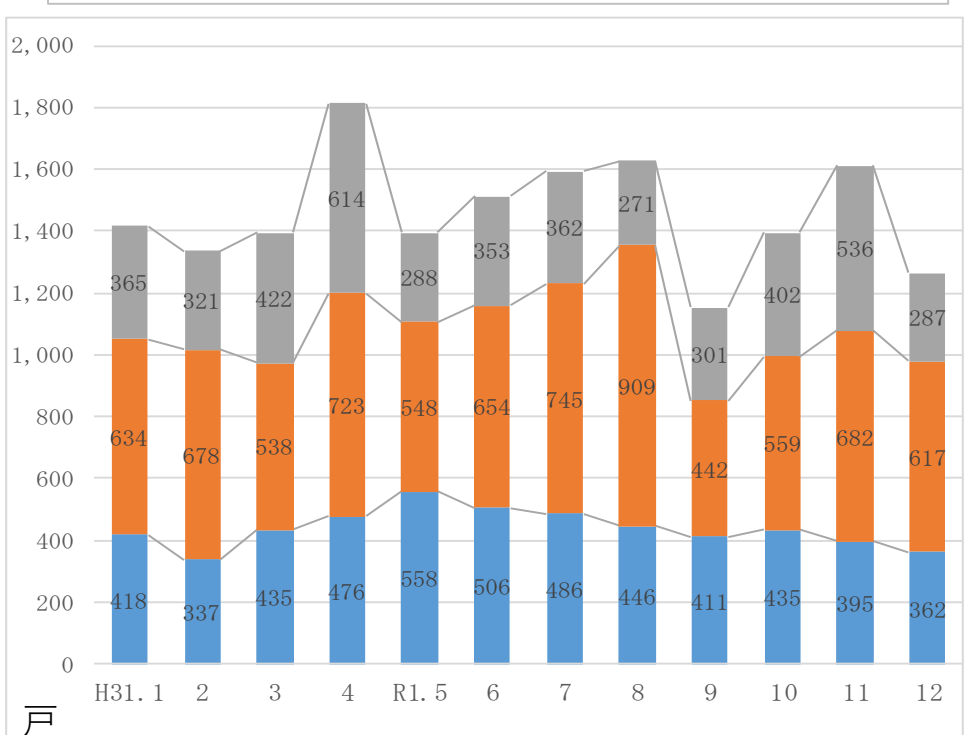


## (2) 利用別（宮城県）

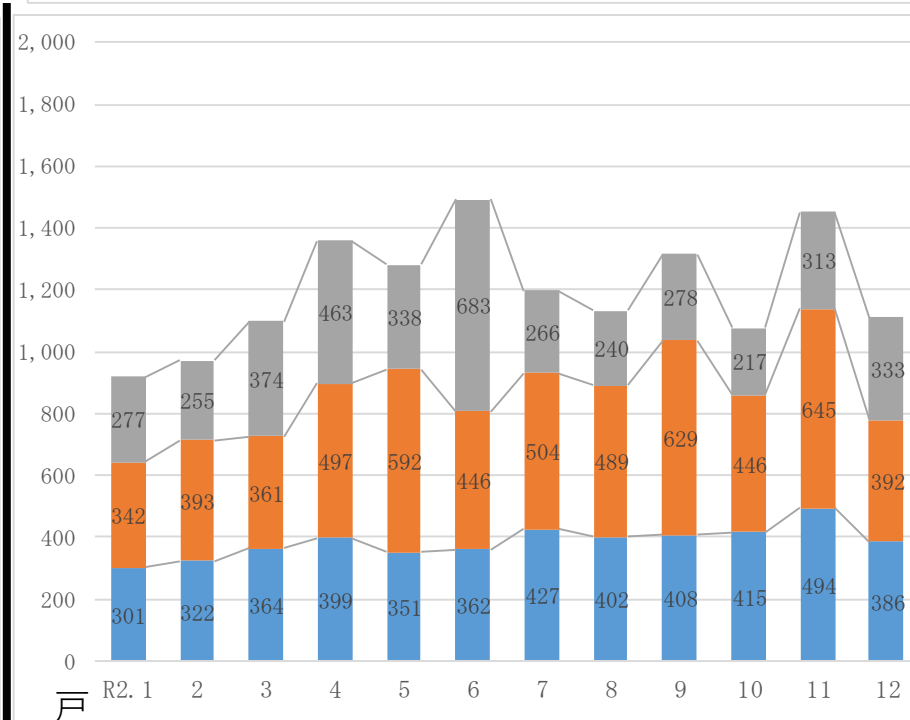
- ・令和3年1～10月の棟数を各利用で比較すると、昨年比で全て増加，一昨年比で全てで減少している。
- ・木造率は，持家で92%と最も高く，貸家は低調である。

持家	■
貸家	■
分譲住宅	■

令和元年次（宮城県）  
木造率 持家：89%，貸家：55%，分譲：74%



令和2年次（宮城県）  
木造率 持家：92%，貸家：60%，分譲：74%



令和3年次 木造率（宮城県）  
持家：92%，貸家：57%，分譲：81%

